

12. テーマについて

4班

地域子育て支援、家庭教育支援について



こども家庭庁

地域の中で子育て家庭が支えられるよう、こども家庭庁では、子育て世帯の「こんなサービスがほしい!」というニーズに応じた様々な子育て支援を行っています。

たとえば…

必要な支援につながるように、身近な場所で相談を受け、ニーズにあった支援策につなぐ
(利用者支援事業)

こどもが生まれる前から生まれた後まで、悩みや不安をキャッチできるようにする
(伴走型相談支援)

こどもとの関わり方がわからない親が、どうやってこどもと接すれば良いか学ぶ講座を実施する。
(親子関係形成支援事業)

悩みの
気軽な
相談

こどもとの
関わり方
の支援

こどもの
預かり



親が働いているこどもの預かり(保育所、放課後児童クラブ)
一時的に家でこどもをみられないときのこどもの預かり
(一時預かり)

地域の
人たち
どうしの
助け合い

子育て中の親子が気軽に集まり、お互いに交流や不安・悩みの相談ができる場所の提供
(地域子育て支援拠点)

地域の人同士でこどもの預かりができるよう、こどもを預かってほしい人と預けたい人をマッチングする
(ファミリー・サポート・センター)

家事や
育児の
支援

子育て中のおうちを訪問して、家事を手伝ったり、こどもの世話をしてくれる
(子育て世帯訪問支援事業)

皆さんから聞きたいこと

質問①子育てに対して、どんな支援があると良いと思いますか？

例えば

A 子育てをしている親に対する支援

- ・ 気軽に相談ができる場所をつくる
- ・ こどもを預けられる場所を増やす
- ・ 家事や子育てを助けてくれる人を増やす など

B こどもに対する支援

- ・ 安心して過ごしたり遊んだりできる場所を増やす
- ・ こどもの意見を聞く機会を増やす など

家庭教育支援について

1. 家庭教育の位置づけ

- 家庭教育は、すべての教育の出発点であり、父母その他の保護者が子供に対して行う教育。子供の豊かな情操、家族を大切にする気持ちや他人に対する思いやり、命を大切にする気持ち、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーなどを含め、子供の基本的な生活習慣や自立心の育成、心身の調和のとれた発達を図る上で重要な役割を担うもの。

◆教育基本法（平成18年法律第120号）（抄）（※改正教育基本法（H18）において新設された条文）

（家庭教育）

第10条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義務的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重（※）しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

（※ 家庭教育支援に当たっては、個々の家庭における具体的な教育の内容や方法は、各家庭（保護者）が決めるものであることに留意）

（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）

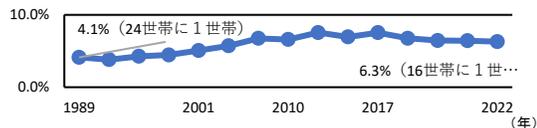
第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

2. 家庭教育を取り巻く状況

- 共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が変化中、子育てに悩みや不安を持つ保護者も多く

地域全体で家庭教育を支える体制を構築することが必要。

＜「児童のいる世帯」の中で「ひとり親と未婚の子のみの世帯」の割合＞



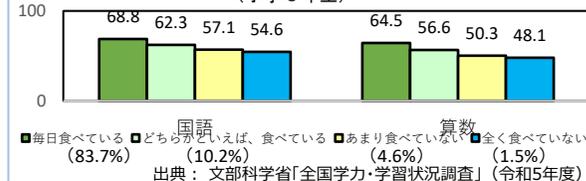
出典：「国民生活基礎調査」(厚生労働省)

- 家庭環境が多様化し、様々な課題や複雑な事情を抱える家庭が増加する中、児童虐待など、子供たちの健やかな育ちをめぐる課題が懸念され、**真に支援が必要な家庭に寄り添い届ける支援（アウトリーチ型支援）が必要。**



- 子供の生活習慣の乱れが、学習意欲、体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されており、十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な運動など、**子供の健やかな成長には、規則正しい生活習慣の確立が必要。**

＜朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係＞
(小学6年生)



3. 文部科学省における主な取組

家庭教育の自主性を尊重しつつ、子育てに関する様々な悩みや不安を抱える保護者を支援するため、保護者に対する学習の機会及び情報の提供等地域における家庭教育支援の取組を推進するための施策を実施。

- 地域の実情に応じた家庭教育支援（アウトリーチ型支援を含む）の取組（※）への財政支援
（※ 地域において家庭教育支援を担う人材の養成、「家庭教育支援チーム」の設置、様々な支援活動の実施等）
- 家庭教育支援に関する効果的な方策の調査検討・全国的な普及啓発
- 「家庭教育支援チーム」の設置促進（文部科学本臣表彰等） 等

「家庭教育支援チーム」について

趣旨・目的

○ 共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化等を背景に、子育てに悩みや不安を抱える保護者も多く、**地域全体での家庭教育支援の必要性**が高まっていることを踏まえ、文部科学省では、平成20年度より、保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、**身近な子育て経験者や元教員等、地域の多様な人材を活用した「家庭教育支援チーム」の設置を促進。**

チームの構成・業務

- 地域の子育て経験者を中心として、教員OB、PTA等の教育関係者、民生委員や児童委員等の保健福祉関係者など、地域の実情に応じた多様な関係者で構成。
- 主な取組は、以下のとおり。
 - (1) 保護者等への学びの場の提供
 - (2) 保護者等への地域の居場所づくり
 - (3) アウトリーチ型家庭教育支援（※保護者の居場所に向かい届ける支援）

＜活動事例＞
保護者への学習機会の提供



保護者学習会の様子
(都農町家庭教育応援団「さんさん」
/宮崎県都農町)

啓発資料

- 身近な地域において保護者への支援を行う「家庭教育支援チーム」の組織化や活動を支援することを目的としたリーフレットを作成。
(平成28年2月)
- 地域において「家庭教育支援チーム」を立ち上げる際に必要な視点等について、事例、コラム等を交えて整理した手引書を作成。
(平成30年11月)



国による支援

＜文部科学大臣表彰＞ ※平成29年度より実施【隔年】

- ・ 地方公共団体（都道府県・指定都市）からの推薦等によるチームの表彰。
令和5年度は、全国20チームの活動を優れた活動として選定し、表彰式を実施。
表彰式の様子は文部科学省ホームページで紹介。



＜補助事業による推進＞

- ・ 地域における家庭教育支援基盤構築事業（1/3補助事業）において、家庭教育支援チームの組織化及び支援活動等に係る経費を補助。



＜チームの登録制度＞

- ・ 「家庭教育支援チーム」の設置促進とともに、各地域の取組状況の把握や、効果的な事例の収集・情報発信による全国の様々な地域における家庭教育支援の取組の活性化促進に資するため、「家庭教育支援チーム」登録制度を実施。
【→登録チームは、ロゴマークを使用可】

家庭教育支援チーム数の推移



※ 補助事業により支援している「家庭教育支援チーム」数と登録制度に登録している「家庭教育支援チーム」数を合計したもの（各年度末現在）

「家庭教育支援チーム」の活動事例（令和5年度文部科学大臣表彰受賞活動より）

大崎市鹿島台家庭教育支援チーム「まあま」（宮城県）

【活動開始時期】 2004年6月

【構成員】 17人（主任児童委員、青少年指導員
県子育てサポーター、保健師 等）

【主な活動】

- ふれあい交流事業 生命を考える会
地域の中学生を対象に命の大切さや将来の人間形成に必要な父性・母性を育ませることを目的として様々な体験活動を実施。



- 保護者向けの研修会の実施
子育ての不安・悩みをグループワーク形式で話し合い、子育てのヒントを学ぶ機会を提供している。



- 学校生活についての講座
小学校の入学説明会で、保護者を対象に学校生活で気を付けることや生活習慣についての話をします。



【効果】

- ・家庭教育支援のみならず、学校や地域と連携した活動を行うことで、地域における活動の定着化が図られている。
- ・活動を継続的に行うことで、地域住民が相談しやすい環境を整えている。

等

大東市家庭教育支援チーム「つばみ」（大阪府）

【活動開始時期】 2016年4月

【構成員】 85人（SSW、民生委員、青少年指導員、元教員
PTA関係者、子育て経験者 等）

【主な活動】

- 状況把握調査
公立小学校1年生と4年生の子供がいる家庭を対象に、子育てや家庭教育の困りごとなどを伺う調査を実施。
- アウトリーチ活動
家庭教育に関する状況調査の回答に応じて、小学校1年生の子供がいる家庭に家庭訪問又は電話連絡をする。
- 「いくカフェ」の開催
テーマを決め、家庭教育について学び考えるきっかけとなる場の提供。
- 子育て講演会・講習会の開催
広く市民に向け、家庭教育の重要性を啓発する機会とし、まちをあげて家庭教育を応援する機運を醸成する。



【効果】

- ・状況把握調査の結果を受け、保護者の悩みをリアルタイムに把握することができ、また、経年データを分析することで、悩みの傾向を把握することができ、「いくカフェ」や講演会等に活かすことができた。
- ・保護者の悩みや関心があるテーマに沿って「いくカフェ」や講演会を開催したことで、多数の方に参加していただいた。

等

文部科学省における家庭教育支援の推進に関する情報

子供たちの
未来をはぐむ

家庭教育

家庭教育支援について、各地域の取組を含めた様々な情報を文部科学省のポータルサイトに掲載。



インターネットで **家庭教育ってなんだろう?** と 検索

家庭教育支援に関する各種動画等の提供



家庭教育支援チームの活動例 など
 (「YouTube」文部科学省動画チャンネル)
 ・メンバーの得意分野を生かした多様な取組
 ・地域における支援のネットワークづくり
 ・全戸訪問による相談支援 など

つくろう! 家庭教育支援チーム ～地域の力で家庭や子供を支える～

身近な地域において保護者への支援を行う「家庭教育支援チーム」の組織化や活動を支援することを目的としたリーフレット。



「家庭教育支援チーム」の手引書

地域で「家庭教育支援チーム」を立ち上げる際に必要な視点を、事例、コラムなどを交えて整理した手引書 (平成30年11月)。



訪問型家庭教育支援の関係者のための手引き

地方公共団体で訪問型家庭教育支援を実施する際に、ヒントとなる情報や知見、ノウハウなどを整理。



家庭教育手帳

保護者などに対する子育てのヒント集として作成。

「乳幼児編」、「小学生(低学年～中学年)編」、「小学生(高学年)～中学生編」の3種類をホームページに掲載。



みなさんにお聞きしたいこと

これから家庭教育支援を充実させるために、どのようなことに取り組んだらいいか参考にしたいので、みなさんの意見を教えてください！

質問②
**将来、自分が親になった際に
子育てに関して
どんな情報が欲しいですか？**